

科目名

デザイン実習Ⅰ Design ExerciseⅠ

1年 前期・後期通し 2単位 選択

星 加 民 雄

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：4
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
B	—	建築総合コース	選択	45時間
	B 1	建築計画コース		
	d-1	建築構造コース		

【概要】

視覚表現には形態、素材、色彩の三つの主要素があります。この授業では、建築表現の基本となる色彩感覚の習得とコンポジション（構図）のセンスを身につけることを前提とした建築デザインに結びつくデザインの基礎表現技法を習得していきます。前期（前半）は平面を中心とした構成演習、後期（後半）は立体構成を主にを行います。

【到達度目標】

- 身近な題材をモチーフとした表現を通して、色彩感覚とレイアウトの感性を習得する。
- 平面から立体へ移行する時の三次元の捉え方と生かし方を習得する。
- プレゼンテーションの基礎的な技法を習得する。

【授業計画】

テーマ	内 容
① トーンによる視覚表現	課題説明を行なった後、アイディアスケッチを行う。 写真をモチーフとしたトーン分解／写真の5階調明度分解によるトレースアップ作業を行う。
② 同上	5階調に明度分解した線画イラストをもとに、トレースダウン（転写）し、さらに5階調の配色計画を行う。
③ 同上	トレースダウンした線画イラストに5階調の配色計画に基づいた彩色を行う。
④ 同上	トレースダウンした線画イラストに5階調の配色計画に基づいた彩色を行う。
⑤ 同上（講評） 分割構成1（平面）	全作品を展示して学生投票を行い、上位作品のプレゼンテーションを行う。終了後、第2課題の分割構成についての分割理論の解説、および課題説明を行い、アイディアスケッチに進む。
⑥ 同上	アイディアスケッチを基にした配色計画、彩色を行う。
⑦ 同上	彩色およびフィニッシュワークの作業を行う。
⑧ 同上（講評）	全作品を展示して学生投票を行い、上位作品のプレゼンテーションを行う。終了後、個別講評を行う。 学生自身による自己評価
⑨ 分割構成2 （レリーフ構成）	平面における分割理論をもとにした立体的表現（レリーフ表現）／黄金比の理論をもとに立体化を考慮した平面上でのアイディア展開を行う。
⑩ 同上	アイディアスケッチから1点をセレクトし、1／2モデルを作成する。
⑪ 同上	1／2モデルをもとに、レリーフ状に構成する。立体化されることによる側面の要素を含めた配色計画に重点を置いて作業を行う。
⑫ 同上（講評） 反射光によるレリーフ	全作品を展示して学生投票を行い、上位作品のプレゼンテーションを行う。終了後、第4課題の説明を行い、アイディアスケッチに進む。
⑬ 同上	アイディアスケッチから1点をセレクトし、1／2モデルを作成する。
⑭ 同上	1／2モデルをもとに本制作に入る。直接の光が入ってこないよう、また反射の効果を確認しながら部材の構成を行う。
⑮ 同上	本制作。反射の効果を確認しながら直接の光が入らないよう、構造上の工夫を加えて部材の構成を行う。
⑯ 同上	全作品を展示して学生投票を行い、上位作品のプレゼンテーションを行う。終了後、個別講評を行う。 学生自身による自己評価

【授業方法】

課題1、2は平面表現が主となります。課題3、4はレリーフから立体構成になりますので出る制作が必要になります。制作用の材料は提供しますが、指定の彩色用具は入学当初に購入しておくこと。

【学習到達度の評価】

- 1) 課題制作時に、考え方・デザインの方法・模型作成技術をマンツーマンでアドバイスし、理解度を促します。
- 2) 各課題制作後に講評会を実施し、作品の講評を通して、課題の考え方の理解・発展を促します。
- 3) 講評する選抜作品を学生投票によって行うことで、学生各自が他者の作品を通して、各自の到達度を評価できるようにします。

【評価方法】

- 1) 各課題を100点で採点し、平均で評価します。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行います。

【関連科目】

2年：デザイン実習Ⅱ、建築設計製図Ⅱ 建築設計Ⅰ
3年：建築造形実習 建築設計Ⅱ

【教科書・教材】

配布プリント

【参 考 書】

朝倉直巳 著「芸術・デザインの平面構成」六耀社

【履修上の注意】

将来、建築デザインを目指すものはできるだけ受講して下さい。

【オフィスアワー】

昼休み（12:00～1:00）、放課後に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。